

サマリー

海外文献紹介 : Annual Energy Outlook 2014

(米国エネルギー情報局)

戦略・研究ユニット 研究主幹 大久保 直樹

米国エネルギー情報局 (Energy Information Administration、以下 EIA と略記) は、2014年5月7日に2040年までの国内エネルギー需給および価格見通しについてまとめた報告書「Annual Energy Outlook 2014」(以下「AE02014」) を発表した。

AE02014 は、「序文」「AE02014 基準ケースの更新」「概要」「法律と規制」「注目ポイント」「市況動向」「他の予測との比較」等で構成されており、国内のエネルギー需給について基準ケースとして分析するとともに、経済高成長/低成長ケースや石油価格高/低ケースも比較検討している。

本稿では先ず、AE02013 からの変更点として、GDP 成長率の上方修正および、WTI, Brent の原油価格の下方修正を整理した。

次に部門別 (家庭・業務・産業・運輸) のエネルギー需要の見通し、エネルギー源別の需要の見通し (電力・ガス・石油・石炭) を整理した。

そして最後に、EIA が考える今年の注目ポイントの中から、エネルギー関係者だけではなく、一般の方々も大きな関心を持っている米国のタイトオイルの生産動向について概要を紹介した。

お問い合わせ先: report@tky.iecej.or.jp